

# かやぶき民家 自費で再生へ

南丹市美山町で、廃屋になりかけていた一軒のかやぶき民家が今、再生されようとしている。同町へ1ターンしたかやぶき職人、西尾晴夫さん(37)＝同町島Ⅱが「朽ちていくのを見るのは忍びない」と、自費で手入れに取り組んでいる。



穴の開いたかやぶき屋根を修復する西尾さん(南丹市美山町島Ⅱ)

南丹・美山 1ターンの屋根職人

## 「荒廃 忍びない」

兵庫県出身の西尾さんは京都市内の大学を卒業後、田舎暮らしと職人の世界に興味を持ち、同町内の建築会社でかやぶきの修行をした。一時期、亀岡市内の住宅会社に営業も体験したが、現在は屋根職人として独り立ちしている。

再生に取り組んでいるのは自宅近くのかやぶき民家。床面積約六十平方メートルで、二十年ほど前から無住になっている。調べると、百年前には古材を再利用し